

## 近年の研究紹介

藤井 和佐 研究室 2014.10.29

### 沖縄県八重山地域における漁業・漁村の活性化に関する社会学的研究



漁業の次世代後継者が2名しかいない集落において、漁業者が地域アイデンティティと生業維持をかけて活性化活動を展開する。その結果、行政支援も得られ、現在、活動拠点となる施設も整備されるにいった。それは、生きることの保障を地域自らが獲得するために、全地域的な新たな共同性を創生したこと、そして共治の可能性を拓いたことによると考えられる。

【藤井和佐,2012,「生業保障の地域展開～小浜島漁業集落の事例～」杉本久未子・藤井和佐編『変貌する沖縄離島社会～八重山にみる地域「自治」～』ナカニシヤ出版, 131-149/総頁数 249.】

### 農業地域における女性リーダーの意思決定の場への参画に関する社会学的研究

<目的と方法>地域の意思決定の場に参画する女性がなかなか増えないという現状にあるなか、先進的に女性が参画してきた地域を対象とすることによって、女性が意思決定の場に「参画する/しない」および「参画できる/できない」理由に迫る。

<結果> ①もはや「女性の地位向上」という理念だけでは女性を動員することは難しく、政治参画が生業保障のために有効かどうか参画への動機付けに影響する。②女性の政治参画には、既存のリクルートメント・ルート以外のルートおよび方策を講ずる必要がある。

<課題>女性の政治参画について権利の問題ではなく、義務の問題として課題設定する必要がある。

【藤井和佐,2012,「地域の意思決定の場への参画～長野県における女性農業委員の活動から～」日本村落研究学会企画,原珠里・大内雅利編『【年報】村落社会研究 48 農村社会を組みかえる女性たち～ジェンダー関係の変革に向けて～』農山漁村文化協会,69-106.】

### 受験生へのメッセージ

第1次産業を基盤とした農山漁村における住民の生活の持続性を保障する地域づくりに関心のある方、農山漁村において女性が政治的意思決定の場に参画していく道筋について関心のある方、いっしょに考えてみませんか。社会的な考え方への共感と理解があれば、議論が深まるでしょう。